

# 平成 17 年 2 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）及び業績予想の修正

平成 17 年 1 月 28 日

会 社 名 株式会社 宮

（コード番号：9901）

（URL <http://www.miya.com>）

代 表 者 役 職 名 代表取締役会長兼社長

氏 名 鈴 木 栄 一

問い合わせ先 責任者役職名 専務取締役

氏 名 根 本 澄 男

（Tel：(028) 634－3815）

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処 理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無

有 ・ 無

## 2. 平成 17 年 2 月期第 3 四半期業績の概況（平成 16 年 3 月 1 日～平成 16 年 11 月 30 日）

### （1） 売上高（又はこれに相当する事項） （百万円未満切捨）

|                   | 百万円            | % |
|-------------------|----------------|---|
| 17 年 2 月期第 3 四半期  | 16,666 (－)     |   |
| 16 年 2 月期第 3 四半期  | － (－)          |   |
| ( 参 考 ) 16 年 2 月期 | 22,465 (△2. 3) |   |

- (注) 1. 売上高（又はこれに相当する事項）は、当該四半期までの累計値であります。  
 2. 売上高には営業収入を含めております。  
 3. パーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。  
 4. 当該四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期の実績および増減率につきましては記載しておりません。  
 5. 売上高の数値に関しましては、監査法人による監査を受けておりません。

### 〔売上高（又は売上高に相当する事項）に関する補足説明〕

当第 3 四半期におけるわが国経済は、好調なアジア向け輸出に加え、民間設備投資の増加を背景に緩やかな回復の兆しが見られるものの、景気回復を実感できるまでに至らず、依然として厳しい状況で推移いたしております。

外食産業におきましても、雇用情勢や個人消費によりやく回復の兆しが見られますものの、狂牛病による米国産牛肉の輸入禁止が続き、経営環境はきわめて厳しい状況で推移いたしました。

当第 3 四半期における当社グループは来客数の増加と売上の確保を図るため、おいしさを追求したメニューの開発を行うとともに、接客サービス向上のため、社員教育の強化を図ってまいりました。

主な新規出店店舗につきましては、「ステーキ宮」4 店舗、「風神社中」2 店舗、「ステーキ桜」1 店舗、さらに 10 月 5 日宇都宮市にオープンしたショッピングモールに 7 業態を出店いたしました。

以上の結果第 3 四半期の売上高は、16,666 百万円となりました。

### （2） 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象はありません。

3. 平成17年2月期の連結業績予想（平成16年3月1日～平成17年2月28日）

（単位：百万円）

|                              | 売 上 高  | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 |
|------------------------------|--------|---------|-----------|
| 今回発表予想(A)                    | 21,500 | 400     | 75        |
| 前回発表予想(B)<br>(平成16年10月22日発表) | 22,306 | 450     | 102       |
| 増減額(A-B)                     | △806   | △50     | △27       |
| 増減率                          | △3.6%  | △11.1%  | △26.5%    |

（参考） 1株当たり予想当期純利益（通期） 4円9銭

〔業績予想に関する定性的情報等〕

通期の業績予想につきましては、収益性の向上を図るため店舗を重視した現場主義を徹底し、社員の意識改革に取り組んでおります。しかし米国産牛肉の輸入禁止が続き、厳しい経営環境で推移しております。その為既存店売上がやや減少し、加えて不採算店舗の業態変更及びスクラップ等を積極的に行っている為、固定資産除却損等の特別損失が増える見通しであります。その為平成16年10月22日に発表いたしました業績予想を変更することといたしました。

（注）上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により業績数値と異なる可能性があります。